

スペシャルオリンピックス(SO)は、知的発達障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通じ提供している国際的なスポーツ組織です。SOでは、これらのスポーツ活動に参加する知的発達障害のある人たちをアスリートと呼び、多くのボランティアやアスリートのファミリーと一緒に活動を支えています。現在では全国全ての都道府県に普及していて、富山でも現在約110名のアスリート会員が9つの競技種目に取り組んでいます。



22人の富山選手団が参加した2011年SON冬季ブロック大会・長野で、スノーシューイングの杉森建彦さんの力走(左から2人目)

今季のエッセイ

世界大会に向けたトーチラン

昨年、SON・富山が2010年NG・大阪で大きな成果をあげることができたのは、何よりアスリートの一生懸命の頑張りが感動を呼び、富山に年々その活動の輪が広がってきた結果だと痛感しています。また、それを支えてきたのは、2003年の設立準備委員会の立ち上げ以降、2006年から前会長の後を受けて活躍してこられた藤井会長はじめ事務局やボランティアスタッフのサポートだと思います。

全国に先駆けて2010年SON東海・北信越ブロック夏季大会 in 富山を開催したことや、毎回の世界大会・全国大会に参加してきたことも特筆すべきことだと思います。SON・富山は、夏季・冬季のプログラムに加え、ハートフルコンサートや文化プログラムなどでの地道な活動にもしっかりと取り組んでいます。ここ数年の目覚ましい活躍は、SON・富山の活動の歴史の

SON・富山 参与 松永 豊

中での通過点です。今後は更に活動を活性化させていただきます。

今年5月、富山市内でSO世界大会の成功に向けたトーチランを計画しています。私は、その実行委員長を仰せつかりました。このハートフルニュースを読んでいる会員の皆さんはもちろん、会員がお勤めの企業の方々、近所の皆さん、アスリートが通う学校の先生方や施設の職員の皆さんも誘っていただき、一人でも多くの方にトーチランに参加してもらってください。参加の皆さんにはSON・富山のTシャツを着ていただき、トーチランの伴走者として、スペシャルオリンピックスのすばらしさを、広く県内に、そして国内にアピールしたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

クリスマス会

2010年12月23日(祝)午後6時30分から、富山電気ビルディング5階ホールで、2010年SON・富山のクリスマス会が開催され約100人の参加でした。会場は、昨年のブロックゲームのファミリー懇親会でもお世話になったクラシカルなムードのホールです。



今回もアスリートやボランティアがのりので楽しみました。いつも文化プログラムでお世話になっている道下和美先生のご主人の千春さんもドラムで参加してくださいました。道下先生の「喜びの歌」から、「ありがとう」を笹井君が熱唱。清水さんと林さんが特別出演の「ひょっこりひょうたん島」、「宇宙戦艦ヤマト」。最後は、全員でダンスの「Gold Finger '99」で盛り上がりました。

フロアホッケーに富山大学から学生の皆さんが参加しました！

先日、2月13日に開催されたSON・富山総会で承認された新年度新役員の副会長水内豊和准教授が、富山大学人間発達科学部発達教育学科発達福祉コースから、学生の皆さんを紹介していただき、フロアホッケーのトレーニング会場で32人が参加してプレーを楽しみました。



2011年SON・富山冬季地区大会(アルペンスキー・スノーシューイング)

2011年3月6日、富山市の極楽坂スキー場で、SON・富山のアルペンスキープログラムとスノ

ーシューイング雪上2競技での地区大会を開催し、計35人のアスリートが参加しました。



2011年スペシャルオリンピックス日本東海・北信越ブロック 冬季ブロック大会 in 長野

2011年1月29日(土)～30日(日)に菅平高原を舞台に、東海・北信越ブロック冬季ブロック大会が行わ

れ、22人の選手団は早朝6時に出発し、最終日は大雪の中、2時間遅れで、元気に戻ってきました。



開会式、富山のアスリートは、みな元気です



晴天に恵まれ、素晴らしい大会になりました



頑張っています



アルペンスキーの会場です。大きなスキー場。一日目は快晴でした

総会

2011年2月13日、富山市障害者福祉プラザ多目的ホールにおいて、SON・富山の定期総会が開催されました。約100人の出席で、藤井裕久 SON・富山会長ほか役員の方々のご挨拶のあと議事が進められました。

今年度は、フロアホッケー等でのご協力いただいている富山大学の水内豊和准教授を新たに副会長としてお迎えしました。



先生は、S0の活動に富山大学の学生の皆さまが参加していただくことを通じて社会への知的発達障害者の理解を促進されたいとお話されました。また、S0の活動が知的発達障害者にもたらす心理社会的効果を客観的・実証的に明らかにし、S0が地域生活を豊かにする資源として意義深く重要なものであることを広く周知していきたいとも加えられました。



職場でがんばるアスリート

田口美里さん（「アムール・ド・レイブ」勤務）

「フレンチ職人のお弁当って食べたことある？」
「オードブルや豪華フルコースもいいよね～」そんな、素敵な時を過ごしたいお店、フランス料理のアムール・ド・レイブ “Amour de Reve” で、水泳やアルペンスキーに参加している田口美里さんが働いています。

田口さん、パソコンは小学校4年生から親しんでいて、オーナーでシェフの平野公孝さんが経営するお店で就業体験したとき、試しに顧客データをインプットしてもらったら、あまりの素早さにシェフ絶賛！週に3日間（月・火・金）、ゆったりとした店内の隅で顧客のデータ入力をしたり、お土産のラッピングを手

伝ったりしています。平野さんは、「何でも手早くこなし、指示したことにはきちんと対応できる」と目を細めます。皆さん、田口さんの働きぶりを見に来てね！

アムール・ド・レイブは、BBT 富山 TV の向かいです。



田口美里さんとオーナーの平野公孝さん

連絡先：アムール・ド・レイブ（定休日なし）
富山市新根塚町 1-6-17 電話 076-491-6411

参加者の声

ボランティアで参加して

きっかけは、担任していた生徒の保護者から、「コーチが不足しているので」と頼まれたことでした。資格はありませんでしたが、スキーが好きだったので引き受けたのです。初回は、大きな不安と緊張がありましたが、アスリートとファミリーに笑顔で迎えられたのがとても印象的でした。アスリートのレベルはさまざま、私はそのシーズンにスキーを始めたばかりのアスリートを担当しました。

はじめはスキーを担いで登り、ちょっと滑っては転び、また担いで上るといったキツイ状況でしたが、一息つく頃にファミリーからおいしいあめ玉と笑顔の声援という差し入れが…。また滑る元気が沸いてくる瞬間です。ずっと同じアスリートの担当でしたが、そのうち、曲がれるようになり、リフトにも乗れるようになりました。2年経った今では、私が後ろから追っかけて滑るほどの腕前です。

きっかけはひよんなことでしたが、参加してみたら「私自身も楽しめたなあ～」というのが率直な感想で

ボランティア 大門 泰士

す。若干でもスキーファンを増やせたかなという実感もあります。毎回参加できるわけではありませんが、自分ができる範囲でこれからも参加しようと思います。



長く担当してきたアスリート柴田君（右）と大門さん

S0に出会えて幸せです！

「どうしてS0 やってるの？」とよく聞かれます。私の答えはいつも同じ。「ボランティアをするぞ、という崇高な気持ちからではなく、いくつかの偶然が重なって、気がついたら参加することになっていた」です。私はきっと、S0に呼ばれたのでしょね。

2005年に何も知らずに始めたこの活動が、今では、私の人生に必要なものになっています。最初はアルペンスキーだけでしたが、去年からはバスケットも始めちゃってるし だって、春になってアスリートに会えないと、なんだか寂しくて…。

ボランティア 田中 貴子

S0では、本当に得難い体験を数え切れないほどさせてもらって、S0に携わる方々に心から感謝しています。そして、私の参加を笑顔で後押ししてくれている素敵な旦那様にも。

これからもアスリートとともに笑ったり、悔しがったり、悲しんだり、思いっきりS0を楽しみます！



職場でがんばるアスリート

村下陽一郎さん（「あかりハウス」勤務）

富山でのSOに早くから参加し、2004年NG・長野にも出場した村下さんは、就業体験を経て「あかりハウス」で働き始めて、今年の4月で丸10年になります。クッキー作りや袋詰め、喫茶の当番、販売や配達などが担当です。

火曜日から金曜日のほぼ毎日、午前9時30分から午後4時まで働いています。「あかりハウス」施設長の田中ひさ子さんは、「陽一郎さんはとても器用で、ルシアン（丸い小さなクッキー）作りが得意です。根気のいる作業ですが、上手に作ってくれます」とのこと。



村下さんに、「一番好きな仕事は何ですか？」と質問したところ、「配達です」との答え。スタッフと一緒に富山赤十字病院、済生会高岡病院、県庁や富山市役所を回っているそうです。どこかで彼に会うことがあれば、皆さんも気軽に声をかけてみてください。きっと元気な挨拶が返ってくると思います。そして、彼の大きな手で作られた「あかりハウス」の小さなクッキーをぜひ味わってみてください。

「あかりハウス」には喫茶もあります。富山から神通大橋を渡って呉羽山に突き当たったら左に曲がってすぐ左側です。



連絡先：NPO 法人あかりハウス
富山市安養坊 680
電話・ファックス 076-441-5005
営業日：火～土（祝日除く）、10:00～16:00

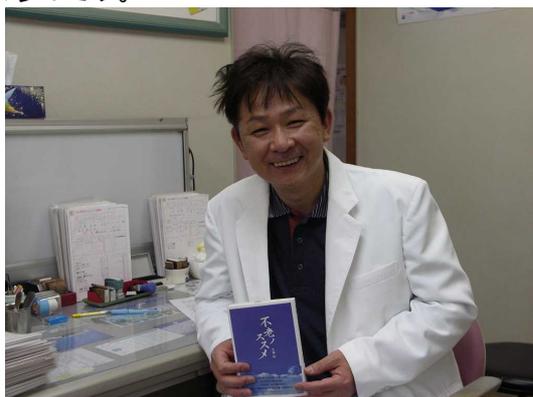
賛助病院紹介

くぼ小児科クリニック

院長の久保裕（ゆたか）先生がいつも心がけていらっしゃるのには、「常に全力で患者と向き合う」ことです。そして、先生は、「（患者と医師が払う）労力と治療期間を最小限にする」ことを目指しているのだそうです。しかし先生は、なんでも薬で治そうとはしません。「喉の風邪のように見えるけれども、その原因は、実はお腹の機能が低下してきているから」といったように、風邪を引いてしまう原因にまで遡る診察で、的確に治癒を後押しして下さるのです。

先生の治療のモットーは、「極力、患者自身が持つ治癒力の邪魔をしない」ことです。

実際、先生に診ていただくと、「ああ、薬ばかりに頼ってはいけないな」と思えてくるから不思議で、おっしゃるとおりにしていると、なぜか風邪も治ってしまうのです。



そんな先生は、2005年に、『ぜんそくもアトピーも』（ニュートンプレス）という書籍を出版され、たいへん評判になりました。最近、『不老ノススメ』（パレード）を出版されました。これは、「老化は、生きるためのエネルギーを徐々に生み出せなくなっていく過程」という定義の下、「水・空気・食べ物」の摂取法から改善するという新しい視点のアンチエイジングの本です。そんな久保先生も、SOを応援して下さっている賛助会員です。



くぼ小児科クリニック
富山市上二杉 4210-1 場所は大沢野消防署の西うら♪
電話 076-468-3311 ファックス 076-468-3090
1991年開業
休診日：日曜・祝日、土曜の午後

協力企業の紹介

日本海ガス株式会社

ウィズガスのCMでお馴染みの日本海ガス株式会社をご紹介します。日本海ガスさんは、富山と石川両県で、都市ガスとLPガスの事業を展開し、私たちの生活基盤をトータルで支えてくださっている企業です。「人と地球にやさしいエネルギー供給」を目指し、天然ガスへの転換などさまざまな事業の他に、親子料理教室や小学校への出張授業など地域との交流にも力を注いでいます。



昨年、BG富山のHAPで奮闘する、社員の牧野さん

新田社長の方針から、地域とのつながりを大切にし、社員の方はごく自然に地域行事やボランティア活動に参加する社風となっています。昨年9月に開催された2010年SON東海・北信越ブロック夏季ブロック大会 in 富山では、社員の方がボランティアでHAPやバス誘導を中心に支えてくださいました。ありがとうございました。



日本海ガス株式会社

日本海ガス株式会社

930-8588 富山市城北町2番36号

電話 0120-18-1107

創立 昭和17年

代表取締役社長 新田八朗

従業員 353名(平成21年12月)

富山・石川の都市ガス・LPガスをトータルサポート URL: <http://www.ngas.co.jp/>

2012年第5回SON冬季ナショナルゲーム・福島

約1年後に、福島県内で冬季NGが開催される予定です。大会のテーマは、「心強く、心豊かに、心一つに 心うつくしまふくしま」です。

選手団は、アスリート700人を含み全1,100人、大

会役員・スタッフ・ボランティアは約3,000人と予定されています。

富山のアスリートも、BGの次はどんどん冬季NGに出場しましょう。

2012年2月10日(金)~12日(日)

開催種目: アルペンスキー、スノーシューイング、フロアホッケー他全7種目

競技会場: 沼尻スキー場(アルペンスキー、スノーボード)、郡山総合体育館(フロアホッケー)他

夏も過ぎた9月頃には、アスリートの出場希望を聞き合わせします。10月末には富山としての選考を終え、11月に大会事務局にエントリーを申し込む予定

です。「冬になってから考えよう」では、遅いですがね 冬季プログラムに参加の皆さんは、是非に意欲的に参加の準備をお願いします。

SP委員会より

2011年度からSP委員長を拝命した戸田武宏です。どうぞよろしくお願いいたします。去る3月5日、東京で、全国及びブロックSP委員長会議が開催されました。全国会議では、今年のSONの活動として、6~7月にギリシャで開かれる「夏季世界大会・アテネ」に75人の選手団を派遣すること、9月に初の単一競技の全国大会「全国バスケットボール大会・東京」を開催することなどが報告されました。また東海・北信越ブロック会議では、認定コーチ研修会を9月に長野で開

催すること、それぞれの地区が可能な範囲で隣県の地区を競技会に招待し、交流を深める方針などが確認されました。

昨年9月に富山で開催した夏季ブロック大会以降、夏季ナショナルゲーム・大阪、冬季ブロック大会・長野と大きな大会が続き、他地区に友達ができたアスリートもたくさんいると思います。今年も富山や他地区のみんなどとも力を合わせて、さらにSOを盛り上げていけるよう、頑張りましょう！

アスリート委員会より

アスリート委員会は、毎年恒例のクリスマス会でビンゴゲームを担当しました。ビンゴでは、みんないつもより緊張した様子…。しかし、みんな役割をしっかりとこなしてくれました

年が明けてからはグラウジーズの試合の応援を企画して準備を進めています。「こんなの、どうかなあ〜」と工夫しながら、応援グッズを自分たちで作るところから始めています。自分たちで作ったグッズで応援すれば、応援にも力が入ること！ また、みんなで応援に行きましょう



SONの公益法人化について

1960年代に発生したKSD事件等をきっかけに、古くからある財団法人や社団法人のあり方を見直す動きがあり、「公益法人制度改革」と呼ばれています。この改革と並行して、これまで任意団体や特定非営利活動法人(NPO)として活動していた団体が、公益法人になろうとする動きもあります。

SONは、一般的なNPOよりも、その事業内容が適正であるとして、全国に200弱しかない「認定NPO法人」に認められていました。この制度改革の中で、SONは更に「公益財団法人」を目指すことが、2010年に決まっています。準備を進めています。

公益財団法人になった後のSONの組織イメージ



SONが公益財団法人を目指す大きな理由は、「社会的信用の向上」と「税務上のメリットの追求」とされています。スペシャルオリンピックスの活動は、私たちの活動に賛意を表してくださる皆さまからの寄付や賛助で成り立っています。公益財団法人になることでは、社会的な信用度を向上させて寄付を受けやすくする狙いもあります。SONが公益財団法人になると、評議員会や理事会も構成が新しくなります。新体制では、SONの評議員や理事に地区の代表者を含めるなどで、地区がSONの運営に意見を言いやすくなるメリットもあるとされています。期待しましょう！

地震被災支援募金

SON・富山では、一般の皆さまにも広く呼びかけ、地震被災地への救援金を呼びかけています。締め切りは4月30日。救援金は北日本新聞社を通じて被災地に送られます。3月20日、アスリートがボウリング会場で募金を呼びかけました。

救援金は一口千円から。北陸銀行本店(店番 101)普通口座 5308370、郵便局口座 00720-0-38833 共に、スペシャルオリンピックス日本・富山(日本は、「ニッポン」と記してください)



エイブル上映会

SO の映画、「エイブル」が富山で上映されます。5月1日、サンシップで 10:30 から 1 回上映。前売り 500 円、当日 800 円。午後から自閉症関連のセミナーも開催。前売り 1000 円、当日 1300 円。

主催はとやま発達障がい親の会と富山県自閉症協会。問い合わせは、
paal_toyama@yahoo.co.jp、090-4322-7448

<賛助金・寄付金をお寄せ下さった皆様(2010年12月8日~2011年3月11日)>

敬称略

五十嵐 務	久保 裕	常木 育美	中山 正詞	福島 志美子	村下 陽一郎	山本 松昭
市田 路子	澤田 功	常木 修一	荻原 律子	福田 孜	村下 勇	吉藤 国之
大野 博美	新出 浪子	長森 万里子	林 安弘	巻端 克文	村下 禮子	若松 文枝
神島 雅諭	杉森 喜三郎	中山 真美	林 せつ子	水内 豊和	村中 洋介	
神島 健二	素谷 孝子	中山 育子	福島 朝子	三津島 渉	森 完一	
神島 辰枝	素谷 宏	中山 スミエ	福島 亘	三津島 淳	山崎 郁夫	
川岸 哲雄	常木 くるみ	中山 正之	福島 茂次	村上 朝子	山本 幸子	
小栗小児科医院	渋谷クリニック	北酸物流(株)	富士ゼロックス(株)	あかりハウス		

ありがとうございました。

賛助金・寄付金振込先

スペシャルオリンピックス日本・富山
(日本は、「ニッポン」としてください。)
北陸銀行本店(店番 101)、普通口座 5308370
ゆうちょ銀行 00720=0=38833

賛助金

<個人> 一口 3,000円
<企業・団体> 一口 10,000円

お問い合わせは、SON・富山事務局あてメールもしくはファックスをお願いします。

私たち 富士ゼロックス北陸(株)は、
スペシャルオリンピックス日本・富山の活動を応援しています。

Kids' ISO 14000 プログラム

Kids' ISO14000プログラムは、家庭の身近な省エネ活動を通じ、自ら進んで環境保全活動に取り組める子供を育成することが狙いです。

私たち富士ゼロックス北陸は、この趣旨に賛同し、以下の活動を行っています。

◎ 地域から信頼され、社会に対する責任の一端を担うために、
近地域の小学校におけるプログラム実施をサポートしています。

◎ 『Kids' ISO14000プログラム』活動をサポートする
ボランティアスタッフや採点サポーターを育成しています。

FUJI xerox



富士ゼロックス北陸株式会社

富山事業所/富山市新桜町 5-3
TEL: 076-431-2121

トーチラン、やります

2011年SON夏季世界大会・アテネを一人でも多くの方に知っていただき、盛り上げていくために、富山でトーチランを開催します。

今回の世界大会には、富山から1人ずつのアスリートとコーチが出場します。トーチランの主役は障害のある人ですが、1区間チームに20~30人のボランティアが伴走します。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。



卓球コーチとして今回の世界大会に出場する林慎二さんが勤務する川田工業株式会社は、富山県が発祥の、全国でそして世界で活躍する橋梁メーカーです。そんな川田工業さんの社内ネットワークに、3月7日、林さんを応援する特集が組まれましたので、その一部を紹介します。

かわだイントラ NEWS

2011年世界大会は、6月25日~7月4日の10日間にアテネで夏季世界大会が開催されます。日本からは、スペシャルオリンピックス日本(略称:SON)として「2010年第5回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・大阪」の結果を基に選考された日本選手団を派遣します。林さんは、これまで数々の素晴らしい成績を残し、これらの優秀な成績が評価されコーチとしてお声が掛かったようです。

今回のスペシャルオリンピックスでは、卓球選手のコーチとして、滋賀、新潟、栃木、東京のアスリート計4名を引率します。また、選手団の団長は、マラソンのメダリスト「有森裕子さん」で、スペシャルオリンピックス日本の理事長でもあります。

林さん曰く、有森さんは、友達とのこと(有森さんはそう思ってないかも。笑)でした。



卓球で活躍するスペシャルオリンピックスの勝原コーチ(左)と林コーチ
写真提供:スペシャルオリンピックス日本

WG アテネに向けて県庁訪問

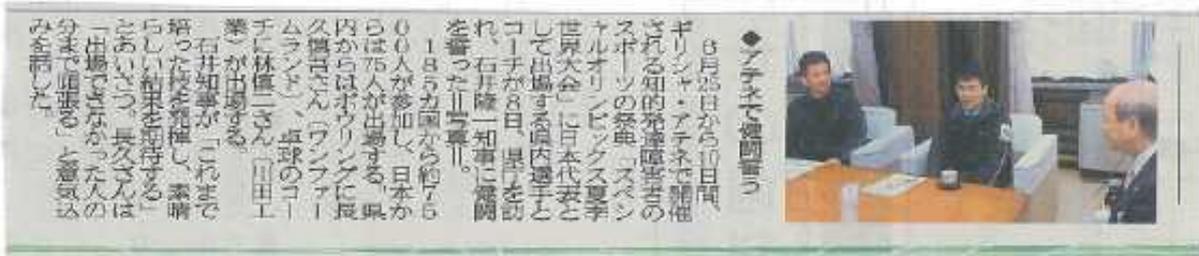
2月8日、2011年スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネにSON・富山から出場する選手団2人が、富山県庁に石井隆一知事を表敬訪問し、遠征への抱負を伝え、知事からは激励のお言葉をいただきました。

訪問したのは、ボウリングで出場のアスリート長久慎吾さんと、卓球で出場のコーチの林慎二さんの二人です。二人には、藤井裕久 SON・富山会長が同行しました。

知事から、「いろいろな国の人と仲良くなって、いい思い出を作ってください」と激励のお言葉をいただき、長久さんは、「アテネに行けなかった仲間の分も頑張り、世界中に友達を作ります。そして、彼らに日本と富山のことを伝えたい」と元気な声で気持ちを語りました。

テーブルを囲んでの懇談では、知事から長久さんに、「家族の人たちや職場の皆さんはとても喜んでいてしょう?」と問われ、長久さんは「はい。」とうれしそうに答えていました。

コーチの林さんは、「障害を持ったアスリートが世界大会という舞台で活躍することは、本人はもちろん、アスリートの家族や周囲で支える人、そして障害を持った全ての人の夢と希望です。その夢と希望を全力でサポートし、この目で世界を見て、スペシャルオリンピックスの活動のすばらしさを多くの人に伝えていきたいと思う」と抱負を語りました。



富山新聞に掲載されました。

北日本新聞でも紹介されました。